2007年12月8日

下落合教会で。まだ走り出したところなので、みんな元気

切さを改めて教えられまし

の様子について理解を深め 主日の教会学校礼拝や分級

ることが出来ました。千代

働きを覚えて祈ることの大

が代表して訪問教会を覚え

教会前で青年

ことが出来ました。信濃町

についての話をお聞きする

たすべき宣教の具体的使命

繁華街に存在する教会が果

たちが出迎えて下さり、毎教会では、教会学校の教師

て祈るのですが、

諸教会の

も少なからずありました。 あって、牧師が留守の教会 日に実施したということも

北支区五十三次」を月曜

カードをいただいた上で、

ら教会の歴史を伺った後、

着時の参加者総数は三四

問教会である早稲田教会到

名、全行程五時間以上の旅

た。戸山教会では、牧師か が疲れを忘れて談笑しまし 共に出迎えて下さり、全員

おられましたが、

時点で途中参加者が幾人も

教会バザー準備の様子を拝

見させて頂きました。この

となりました。

訪問教会での出会い

定 価 1部140円(本体133円干共200円) 1年分 〒共 紙代のみ 5,000 円 3,500 円 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい 教会の購読料は負担金に含みます。

日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話

> FAX03(3207)3918 発 行 人 内 藤留幸 編集主筆
> 竹

澤知代志

自転車で支区内53教会を巡る

こともあり、

祈ることの大切さを改めて教えられ

ちが自由に出会い交わりを 規模と言えるかもしれませ その数だけに注目すれば、 は、そうとも言えないのが 易に深められるかと言え して大所帯とは言えない 諸教会間の交わりが容 しかし規模が小さけれ

より豊かなものとするた 東京教区北支区には、現 諸教会と出会うための一 一が、「北支区五十三次」です。

特に青年たちの出会いの場 はよらない諸教会共通の課 ているかが問われているの れほど身近な存在となり得 題があると思うからです。 が所属する教会以外のこと としても機能してほしい教 青年たちにとってど れます。

の中でも特に柱となるもの め、諸教会の声に聞きつつ、 の一つとして実施されたの す。そして、 的な活動を展開していま 青年部の委員を中心に積極 今年度諸計画

そこで北支区青年部で

諸教会の青年相互の交流を

北支区青年部では、支区内

せて頂きました。東京教区 第一回新宿区編」に参加さ れた「『北支区五十三次』

一〇月八日の祝日に行わ

とする諸活動の実態を知っ 諸教会の青年たちと出会 各地域における宣教の働 は、互いに顔の見える関係 五十三次」です。そこでは っておられる諸教会を自転 しました。 これが 「北支区 車に乗って訪問することに を築くための第一歩とし 特に青年伝道をはじめ 各地域特有の課題を担

となると、「名前は知ってい のです。 年は決して少なくはないも さえ知らない」といった青 ても、一体どこにあるのか

です。

た上で共に祈りがささげら 集合した参加者は、自転車 のペダルを力一杯漕ぎ出 た。最初の訪問教会は、

問への応答、更には施設を 始まり、教会の様々な取り 白教会、続いて下落合教会 案内したり、最後に青年に 組みに関する青年たちの質 祈って頂いたりと短い時間 参加者の自己紹介に

北支区五十三次の副題を ることにしました。そこで、 六教会を対象として訪問す であるため、新宿区内の十

第一回目という を会場として、 のです。この第一回は、 「第一回新宿区編」とした

間的にも体力的にも不可能 を一日で訪問することは時 ということ、特に五三教会 無理をしない 交わりを深めました。

総勢十七名で目白駅前に 意気揚々と出発しまし りの時とされました。

力では、せいぜい一、二教 八番目の参加者となりまし 既に中年域に達した私の体 くして雨が降り出した上、 たちを出迎える立場にあっ たのですが、ここからは十 筆者は下落合教会で青年

くことを通して豊かな交わ

食、楽しいゲームを通じて たが、初日は早稲田奉仕園 流となりました。開会礼拝 日間の予定で実施されまし に続いて鍋を囲んでの夕 室内での交

励まし合うことの喜び

ではありましたが、教会の 取り組みの一端に触れて頂

ったり、

青年たちと雨の町を自転車 はすぐに払拭されました。 がらの出発でした。しかし、 疲れたと見れば気 力があったように思いま 分に変えてくれる不思議な う心の曇天を晴れやかな気 がらの走行には、不安とい たように常に協力し合いな

いかと密かに不安を感じな 会訪問するのが限界ではな んで元気付けられるといっ の利いた励ましの一言が飛





最後の力を振り絞って。 戸山教会に向けてペダルを漕ぐ

位にお詫びし、訂正(削

除)させて頂きます。

また、前述のものを含め

顔の見える関係を目指して

体的・実際的に果たしてい されている宣教の使命を具 ること、そして神から委託 も地域性の違いが豊かであ とは、同じ区内とは言って る各個教会の現実の姿に触 て青年たちと共有出来たこ 恥ずかしながら筆者は、 「北支区五十三次」を通し | てパンクによりリタイアし ました。この時、参加者の 皆さんにはご心配をおかけ やまれます。 でしたが、早稲田教会がご しました。途中退場は残念

参加者の満足気な笑顔を出

残り数教会という段になっ

す。新宿コミュニティー伝

全員が雨に負けないほどの の笑顔に接した時、参加者

驚きと共に再会の喜びを参

が本降りになっていました

出迎えて下さった牧師

偶然今回の参加者の一人で

あることが判明し、大変な

新宿西教会到着時には雨

田教会では、牧師前任地で

交わりを深めていた青年が

励ましを得たことと思いま

用意下さった美味しいカレ したお陰で、訪問を終えた -を食べ損なったことも悔 しかし、ゴールに先回り ŧį 迎えることは出来ました。

いに顔の見える関係の輪が 北支区のみならず他地域で 九日を予定しています。 「第二回」は、翌年四月 青年会活動を通じて互

少しでも広げられますこと

の指摘も、同書記よりあり

報の記述は誤解を与えると 認めるものではないのに新 議』は、未受洗者の倍餐を 殆どの『取り下げ要望・抗

区青年部ホームページをご 当日の様子は、下記の北支 を祈り願っています。なお (神保望報) 易い表現に留意致します。 のような表現をしたつもり そのような意図はなく、そ ました。新報にはもとより もありませんが、誤解を生

道半ば、エパタ教会前で。 働きを覚えて、真剣に合わせる祈り 会宛てに送られていた。」 記述であったことを関係各 受けました。誤解を与える とありますが、文中から、 の「教師退任勧告」議案を られた抗議文書は、『江刺 実はなく、常議員会に寄せ 教会からは質問書が常議員 の各教区から、また紅葉坂 庫、東中国、西中国、九州 が奥羽、神奈川、京都、 同等の取り下げ要望・抗議 れた。本常議員会前には、 奥羽教区書記より、指摘を よるものである旨、岡村宣 下げ要望・抗議』をした事 『奥羽』を削除致します。 取り下げるよう強く訴えら 教会牧師 邑原宗男』名に 員会の決定に基づき『取り 奥羽教区が、教区常置委

訂正・お詫び 第四六三九号第一面常議

員会報告記事中、『会議冒

議事日程承認では、こ

http://www.geo cities.jp/kitasei0 7/index.html

-ムペ

公会堂·野外音

社会事業奨励

日メッセージ

ども達が、安心して です。次代を担う子

生活し健全な発達が

-ド」が日比谷

のつどい&パレ

ともの虐待死を悼みいのちを讃える市民集会「鎮魂

今年は十二月の第三日曜日(十二月十六日)、子

祈る日」と定めています。

十二月第一日曜日を「キリスト教社会事業を覚えて 会福祉事業との相互理解と協力を推進する』と謳い、

日本基督教団は、社会活動基本方針に『教会と社

第 4640 号

体的虐待②性的虐待③怠慢または拒否(ネグレクト)

昨年は四万件を超す相談が寄せられ、二〇〇七年五

100七年十二月

胸が詰まります。

「児童虐待防止法」が二〇〇〇年に制定されました これは保護者が十八歳未満の子どもに対し①身

ます。新聞・テレビで報じる子ども虐待の報道には

楽堂で開催され

苦渋にみちた「勧告」に至るには

聖餐にはバプテスマを受けた信徒があずかるものとす

配餐

北 宣 Ш 総会議長 日本基督教団

員会は苦渋にみちたもので 苦渋の常議員会決議 第35総会期第三回の常議

件」を上程し、審議し、可 が届けられています。もっ が寄せられ、議決後も抗議 沢したことをさします。 件を撤回するよう要望書 それは「北村慈郎教師に この議案上程と同時に、 容です。

議案をきちんと扱い、教団 反対する意見に対してコメ の要望もありましたが。 としての筋を通すようにと 従うこととします ノトするようにとの依頼に ここでは、この件につき 常議員会はこの重要 が抗議として渦巻いていま とは無謀、横暴でまさに闇 た。それなのに言質を取る らない」というものであっ 討ち、騙し討ちだとの意見 仕方でいきなり勧告をする れたものであって記録もと 由な議論の場として設定さ ここで、あの懇談会は「自

てなした懇談会での発題内 てよいと主張されました。 っていることを報告し、聖 餐の在り方に多様性があっ 北村慈郎教師が紅葉坂教会 闇討ち、騙し討ち! これは議長の要望に応じ で聞いたということでし っていたものを改めて肉声 わたる未受洗者への聖餐執 北村教師の発題は、 ものです。 たものであり、各方面で語 行についての持論を公表し うのも議事録として残さな のであることはいうまでも 的な発言と受止められるも いということであって、公 また記録をとらないとい 猪突、唐突といいますが 長きに

け、なお多くの課題が残されたままです。虐待を受 立ち入りが認められました。しかし虐待は増加し続 が、その多くを全国五五八ある児童養護施設が担っ 月に改正法が成立し、やっと児童相談所の家庭への ています。しかし、 けた子ども達を関連の児童福祉施設が受け入れます 現場への職員配置はほとんど手 が加えられない状況

保障される環境改善が急がれます イエスに倣う者としての働きを担っていてください ます。 心からエールを送り、 必要が満たされるよう キリスト教社会事業の現場も、 日本基督教団社会委員会 厳しい条件下、主 〇年」と題して十二項目の に、正しい聖礼典の執行を また昨年の教団総会での

の発言は重さと責任を伴う りませんでした。従ってそ 議事であり、非公開ではあ あの懇談会は常議員会の

していました。 確かにこの問題性は承知

三年連続、教区総会への議 たのではありません。ここ ばなりません。 とは議長として詫びなけれ うことができないでいたこ 常議員会で正面から取り扱 場でも質疑をなしてきまし の執行」を訴えつづけ、議 長挨拶では「正しい聖礼典 議決すべき事柄に押されて しかし、当面する様々な しかし決して等閑してい

の生命を奪い、教職同士や おくわけにはいきません。 反です。 そして教会として とは「明確な教憲・教規違 当事者の自制を促すととも 重大な問題として放置して 教会間の信頼関係を損ねる は未受洗者が聖餐に与るこ 特に本年度の議長挨拶で 措置をとっていく所 教団」ではありません。 会としての多様性を生かし は ていくことにこそ私たちは れる喜びを目指して伝道し を規定したのです。 頼関係を構築していくべき 祈りと力を結集し、 へと導かれ、共に聖餐に与 ですから未受洗者が洗礼 「何を言っても良い教団」 「何をしても良いという

なぜ、今なのか?

なくない。なのにたった一 でに執行している教会は少 いう問いも多くあるようで 百戒的に取り扱うのか」と 回の発題をもとになぜ一罰 「未受洗者への配餐はす

ら多岐にわたる意見を出し 方を持つ教団ですが、それ も良いのです。しかし、 合った挙句、明確に陪餐者

的姿を現しているもので 則で云々すべき事柄ではな 憲・教規によってその具体 仰共同体としての教会は教 い」と主張されますが、

が決定したものであっても 違法であることを答申し、 員会も未受洗者への配餐は だからこそ、信仰職制委 ものである、なのに教団が 互の信頼と契約に結ばれた とは各個教会の自主性を著 は各個教会の決定事項であ 教会担任教師を立てるの 教師と教会、信徒は相

者への配餐を直ちに停止し

日本基督教団という教会に

実践されるのであれば

ですから何としても未洗

て問題を扱ったのでした。 行はいけません。あの懇談 合同教会として多様な考え しまっていることをめぐっ したのではなく、執行して 会も聖餐論をめぐって協議 聖餐論はいろいろあって うか。

憲・教規によって立つ教会 その信仰上の組織として教 とは全く違います。教団は 多様性とは「何でもあり」 「聖餐に関する問題は、規

信

教会が立てた牧師なのに 日本基督教団 総会議長 山北宣久 様

うな教団になったというの が偽らざる現実でしょう。 があること」を挙げました。 要問題を取り上げられるよ るべきことだったのです。 す。性急でも、拙速でもな き点の一つとして「聖礼典 くもっと早くから取り上げ

いうのは我侭と言われても

心に基づくもので譲れない

しかし、それは信仰の良

というならば残念ながら

「異なる教会の在り方を主

と教憲、教規という枠組み

みません。

それをしないで信仰告白 ルではないでしょうか。

を逸脱して何とも思わぬと

仕方ありません。

聖餐をめぐってはかねて もっと議論してから

> 帰りを訴えているのが こめ、あるべき姿への立ち ていただきたいとの願いを

勧

会を建てるべきでありま おいてではなく、独自の教

す」という「勧告」の内容

になってしまいます。

ですから自主性の侵害な

のだから、それを捨象して だとする声も満ちていま よりいろいろな立場があ 意見、考え方が多様な 不一致、分裂の危険が

この「勧告」を強行すれ

職の退任を勧告することな

そもそも常議員会は一教

てしまうなら、究極の任命

団が立てた教師が枠を超え どというものではなく、教

常議員、議長は越権

どできるのかといわれま

行する人々ではないでしょ う。未受洗者への配餐を執 るのは確かです。 ないではないかと危惧があ た教団を不一致にし、分裂 険を招致するのは誰でしょ ば折角ここまで一致してき への新たな一歩を招きかね しかし不一致と分裂の危

きません。しかし、勧告は できます。今迄も重要な声 委員会の掌握事項ですから 明や決議をなし教会の内外 戒規にかけることは教師 総会議長もで

で「常議員に諮問し、また に公にしてきています。 議長の怠慢は責められるこ られるか否かの大切な問題 発議すること」と総括行為 を見て見ぬ振りをするなら か明記されています。 教団が教会でありつづけ また議長は教規三九条⑤

2007年10月23日 常議員 佃 真人

抗 議

議案 16 号「北村慈郎教師に対し教師退任勧告をおこなう件」の審議はあまり にも粗略であり、また、まったく論議が尽くされない中で、「教師退任勧告」とい う重大な内容の採決を強行したことに抗議します。

この強行採決は、会議制に基づいて合同教会としての教団を形成しようという 多くの教会の信頼と願いを著しく損なうものです。

このような形で決定されたことがらを、我々は受け入れることができません。

って貰いたいと切望してや 体教会たる教団の一員とし てルールの中で行動してい しないでいただきたい。 す。
お聘制を破壊するものだと 教会の自主性とは何でし

者であるキリストに対して

責任を果たしていく仕方で 各個教会に向き合うべくそ

の教師に自制を求め悔改め

行規則に従うというのがル

です。そしてそれまでは現

ません。教団が立てた教師 を各個教会が招聘するので るのは、各個教会ではあり ではないはずです。 しょう。 自主性はアナーキ 教会主義のことではないで ょうか。まさか悪しき各個 - 、無制度、放縦とは同義 そもそも「教師」を立て しょう。 めにも、この未受洗者への み、差別と区別を曖昧にし 配餐問題をはっきりさせま てしまうことから免れるた をヒューマニズムに流し込 を促していくのです。 洗礼を無意味化し、福音

6 先ず教会であるのですか 日本基督教団は何よりも

え給え! 神よ我らに勇気を与

え ! 主よ我らを憐れみ導き給

※この抗議文には、常議員9名を含む、 省略させて頂きます。 署名が添えられていますが、紙面の都合上、 都合上、お名前は、計29名の方々の

れば規則変更を提案すべき

自分の意見を通すのであ

定しているのです

しく侵害するものであり

2007年12月8日

くない」と否決してしまいました。 を四月度常置委員会で「ふさわし 委員会が推薦した開会礼拝説教者

るものです。その 精神を継承するた

解と対話による主の平和の実現の

ために『「3号議案」の精神』に

堅く立った歩みを進めていきま

神』と呼ばれてい

『「3号議案」の精

大阪教区では今年度、総会準備

該教師に謝罪する決議をしまし

わたしたちは謝罪文で「信仰

ある一致と前進のために」という

このように大阪教区は、だれ

文章が決議されました。その文章

途中で「わたしたちは、隣人

主の愛に満たされた教区形成を強 人として排除されることのない

求め続けています。

(大阪教区総会議長)

なった。賛否があることは

直委員会は、その誤りを認め、当 しかし、新しく総会で選ばれた常

教区

めに今年度総会で

「大阪教区の主に

(3)

ることであるかを心に刻み、

断定することが、どれほど主に対 の在り方を軽々しく評価したり、

して罪深く、人に対して愛に欠け

の労苦を思い、互いを受け入れ合

対話を深める教区形成を目指

阪

前進のために 主にある一致と

> を軽んじることのないよう、留意 を判断する際には断じて人間存在

大

向井希夫

会議の在り方を模索しています。 してまいります」とのべ、新しい

この謝罪を生み出したのは、

ことこそが、人間の生死にかかわ

ちは、主イエスと隣人の前に謙虚

のように結んでいます。「わたした しています」と記し、そして以下

に立つこと、聖書の御言葉に聞く

る福音理解の一致、宣教・伝道の

前進へとつながると信じ、相互理

教

宣教方策会議の概要等を決定

第3回宣教委員会

県館山にあるにじのいえと 員会が、去る十一月五日 いこいの村館山を会場に行 第35総会期第三回宣教委 | われた。 ~六日(火)、千葉 マルコ八章二二~の盲人の より開会礼拝が行われた。 ルで篠浦千史委員の説教に 先ずにじのいえのチャペ



行事を開催する件」が可決 本基督教団の教師退任勧告 常議員会報告では、当委員 長が選ばれたことが報告さ され、そのための五人の委 と、「日本伝道一五〇年記念 を行う件」が可決されたこ て「北村慈郎牧師に対し日 未受洗者陪餐の問題につい 会から「要望書」を出した 員に宣教委員長と伝道委員

学が関西学院大学との合併 教育委員会からは聖和大

を進めていることで、

受け止める大切さが示され 満ちた奇跡が語られ、町の もの」を徐々に見えるよう たことを主の御前に静かに 喧噪に入らず、身に起こっ にされる主イエスの配慮に

議事では、先ず諸報告。

会からの申し送り事項につ の問い合わせの件(出版局 いて検討を継続した。 室で行われ、まず前期委員 制委員会が十月十一日(木) ①教団教会暦行事について 十二日 (金) に教団会議 第35総会期第二回信仰職

もり 信仰職制委員会がつかさど ように礼典に関する重要な 事項であり、 「教会暦」の制定は「式文」 教規四四条の

癒しの記事から、「見るべき | スト教教育主事の養成がど うなるか今後の課題となる の常設専門委員会の報告は ことが報告された。その他 が報告された。

からは、ホームページ『障 障害者差別問題小委員会

に中央委員を派遣すること ために各教区の婦人の集い しての理解を深めてもらう 全国教会婦人会連合から 教団の自主活動団体と 京)で行うことが報告され 全国交流会」を二〇〇八年 六月十七日 (火) ~十八日 た。これに合わせて宣教委 (水)、戸山サンライズ (東

新報にあるので割愛する。

員会の日程を変更した。

こと、「『障がい』を考える がいを考える』を開設する いて、設置時の趣旨、『障

協議では、障害者差別問

題小委員会の名称変更につ 発題を三氏に、三教区から

の報告を依頼する。 に入居しておられる方々と 夕食時、「にじのいえ」

> との要請である。当委員会 する見解を表明するように

中心としての礼拝と言える 拝をささげることが伝道の

| 事の話を聞く。 伝道協力の

がい』という言葉遣いを更 策定について内藤留幸総幹 かつての「宣教基本方策」 要とプログラムを決めた。 に検討することになった。 また、宣教方策会議の概

の気概に触れ、教会婦人会 連合の祈りと働きを実感し 交流の時をもった。伝道者

が、これは教団内任意団体

る形式に触れたことで、礼 確認して会を閉じた。異な のではないかということを

団・教区の機関からである が直接諮問を受けるのは教

受けとめて諮問したもので

心づもりが改めて問われた 拝や伝道への形ではなく、

ように思われた。

参加者は、十八教会八一

からの「要請」を総幹事が

、小出望報

るため大村書記を仮議長と

藤掛委員長は当事者であ

し、二日目の冒頭には内藤

七〇名) であった。 名(うち教区内は十七教会

(服部修報)

教会暦」制定の制度見直しを検討

る事項の(3「礼拝、礼典お これまで出版局に委ねてき に属する。この重要事項を よび諸儀式に関する事項」

たことを反省しつつ、制度 ②教規の検討点に関する件|ていたことが判明した。こ の見直しを検討する。

礼拝-今、礼拝を問い直す-」をテー 東中国教区•第1回伝道協議会

二「教規第一二八条⑤にい 提出された際から誤記され と細則の変更が議案として 総会(一九七四年)に教規 う無任所教師」は、 「教規施行細則」第八条の 第 18 回 の要請」を審議した。 とを検討する これは「東海連合長老会 次に総幹事からの諮問、

第2回信仰職制委員会 の訂正を総会議案とするこ

てのキリスト教』について 「『信じる気持ちーはじめ

内容が教団信仰告白に照ら 局がこれを出版したことは からの要請であり、同書の 議長・藤掛順一」の両団体 三二回全国連合長老会会議 長・馬場康夫」および「第 して問題があり、教団出版 |〇〇七年度第一回会議議

を整えて再度提出すること

を進めた結果、諮問の内容 総幹事の陪席を求めて議事

出版局規定第一条「日本基 信仰職制委員会がこれに関 務」に抵触すると指摘し、 督教団の必要とする出版業

次回委員会は二〇〇八年

|月十四~十五日に行う。 (大村栄報)

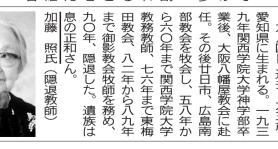
違いに驚いたとの発言が多 出されるなどした。 午後のシンポジウムで やはり、礼拝の様式の

め、現在平均十五名ほどに 前に開拓伝道を三人から始 スト教連合の仲間で、三年 したところ、快く引き受け 教団、津高リバーサイドチ まで成長した、日本アッセ ャーチの牧一穂教師に依頼 ンブリーズ・オブ・ゴット て発言や対話が発展する 認できたことなどが話し合 こと、自分たちの立場を確 られたこと、心新にされた と、これまでに経験したこ 議長の流暢な司会に導かれ とのない礼拝から考えさせ しかし、宮川経宣教区副

ロジェクターによって映し 師のメッセージの要点もプ 讃美の言葉や聖書、また教 たことが印象的であった。 れしそうに体を動かしてい た。同席した子供たちがう 讃美に導かれる形で守られ に、ギターやドラムによる 礼拝は、青年たちを中心 伝道の願いの集大成である から、今この時に喜んで礼 が、一応のまとめとして、 いう点は深められなかった どれほど可能になるか、と どであった。そのため、私 め、時間が足りなくなるほ 礼拝は、それぞれの教会の たちの礼拝にも様々な形が 活発に討論が進んだた 教会伝道師を務め、隠退し

方を問い合わせることとし 出版における意思決定の仕 を総幹事に申し入れると共 こ、出版局に対して、書籍 妹尾活夫氏(隠退教師) William William Town

任。その後廿日市、広島南 九年関西学院大学神学部卒 業後、大阪八幡屋教会に赴 愛知県に生まれる。一九三 九月四日、逝去。九三歳。





-やドラムによる讃美に導かれ 見直し、また確認しよう、 中心である私たちの礼拝を であった。 催された。テーマは「礼拝 を会場にして、「東中国教区 ないだろうかということに 教団以外の教会に依頼でき 拝を客観的に見るために、 を立てた。 ということにあった。その 第一回伝道協議会」が開 ンンポジウムを行なう計画 午後にはその礼拝をもとに ため、午前中に礼拝を行い、 - 今、礼拝を問い直す-」 礼拝は、私たち自身の礼 協議会の目的は、伝道の 去る十月八日、岡山教会 | 承知の上で、岡山市内キリ

ていただけた。

第 4640 号

九七○年牧師夫人達によって「牧

衝撃を受けこのことを契機に

牧師家庭の問題を広く訴えた。そ

してそれは同時に教会の問題であ

(第三種郵便物認可)

の出来事と重なるのである。

九六七年五月青山学院で開か

人4

夫人の発言こそはそのスタート

とに触れる時、

実にこの松山での

新 報 団

催された「第十五回全国牧師夫人

歴史と概要」

100五年八月、

の会」が盛会のうちに終わろうと

た時、一人の夫人が声を上げた。

教

松師の家庭の為に提案したいので

これから日本の伝道を担う若い

2007年12月8日

(4)



牧師夫人研究委員会

努める③各教区で開かれる牧師夫

態を知って伝道の活力となるよう ベルの集まりを持つ②お互いの実

当初その活動目標は①全国的レ

全国教会婦人会連合

全国レベルの集いは二年に一度夏

人会の情報を得、交わりを深める。

に行われ今年で十六回目を数え、

が参加すると地域では評判

になり、多くの方々がバザ

きる」

わい「やってもできない」事実 なく、「共に生きる」労苦を味

区の集会などで度々紹介され、 始めよう」と思っていたが、教 名。「過疎の地で、ひっそりと

かえって目立った。

昨年から「ブログ」を書き始

に直面しながらも、それを超え

悔」「あなたのため」「やればで

したのために」「楽しい生活」「共

好きな言葉は、「悔い改め」「あ

L生きる」。嫌いな言葉は、「後

「あなたのため」で

宣教の 担うべく

横山 利江 (牧師夫人研究委員会委員)

いという熱い願いを抱くのであ 宣教の一端を担わせていただきた せて行こうとする時私達は日本の 題を共有し学びを深め祈りを合わ 途上で共に集いみ言葉に聴き、 個性、生活観、置かれている立場 れの馳せ場で自分でしかできない くくりにできるものではなくその 仕方で歩み続けるのである。 その **なるであろう。 それぞれがそれぞ** によってその在りかた、問題も異 牧師の妻は「牧師夫人」とひと

在教職2信徒2牧師夫 究委員会」となる。(現 し名称も「牧師夫人研

子にまとめる。一九九 八年に再度「牧師夫人 ト」集計報告を「道の についてのアンケー の意識調査と生活実態 をめぐる考察」を小冊 への道のり-牧師夫人

まとめた「ここにつかわされて」 教職、信徒も加わり問題を複眼的 一九八一年、委員構成に

の切なる訴えであった。

牧師夫人研究委員会」発足の歴

です」それはご自分の経験からく

こほしい。 牧師家庭のプライバシ

牧師館は教会の敷地から離し

に理解と配慮をお願いしたいの

一九八九年に「成孰

いる問題を直接聞いた多くの方々 大人の置かれている状況、抱えて その生活の実態を話された。牧師 の牧師夫人が「私の訴え」として れた「全国婦人集会」の折、二人

に捉えて行く事を目指

「16 回全国の会」全体写真 於山代温泉 2007.8.22

ち時代の様も変わり続ける。「牧師 「今後の展望」 委員会発足より三二年の時が経

員会として承認を受け発足に至 され、全国教会婦人会連合の小委 夫人による自発的グループが結成

る事をも示した。 一九七五年牧師

れるところであるが、魅力のある である。若い夫人方の参加が待た での参加が増えつつあり、和やか 会」について見ると、夫婦、家族 であろうか。過去数年の「全国の 包力に欠ける。今後の課題の一つ 夫人」という呼称についての是非 あり最早「牧師夫人の会」では内 が問われて久しいが婦人教職の増 まですべて対外献金とな ちに学校を)」の二箇所に送 る。 今年(九月三〇日開催) 開催してきた。収益はこれ 本(カンボジアの子どもた 援」 「日韓アジア基金・日 は、「中越沖地震被災者救 年にわたり、秋にバザーを

会の存続に関する迷いは消えた感 けて欲しい」との声が多い。この ケートの結果を見る限り「ぜひ続 今夏行われた全国の会でのアン 費用等更 手が少なくなってきてい る企画であった。昨年より、 る。そんな中で、考えられ 齢化などにより、年々担い 教会最寄り駅の一つ「JR たのが地域の方々が参加す このバザー、 教会員の高

その意識調査、生活実態の報告を

一九八〇年に牧師夫人の手記と

に検討を重ねていきたい。 テーマの選択、開催地、 年一回発行の牧師夫人便り「道の

は五〇号を迎える。

座台が出るようになった。 鉛糸町駅」近くのインド・ 「バスモティ」 (店名) の

の 歯医者 さんが、 今年はまた、 教会の近く くださった。

の方々が足を運ん 以降も「地域参加型 でくださった。来年 バザー」を盛り上げ たが、わざわざ多く 天気は雨であっ

(矢吹一夫報

一にむけた動きに学ぶ/参

お知らせ

問題より学ぶ②北朝鮮と韓 年共同研修プログラム/時 月1日 (土) /所=韓国 (ソウルおよびその周辺) K在日・日・韓キリスト青 -8年2月2日 (月) ~3 統 angel.interq.or.jp o´ e-mail:oga-503@ 年協議会、担当:小笠原な 代金は自己負担、参加費・ 教協議会(ZOO)関西青 催・問合せ―日本キリスト 交通費共に補助あり)/主 加費=2万円(韓国の航空

本所 緑星教会バ ザ

本所緑星教会では、数十 写真の中央は店長のソヨド 会のバザーにイスラム教徒 ささげている。キリスト教 近くにあるモスクで礼拝を る。 ・ヌルル・アミンさんであ 徒で、京成線の「お花茶屋 アミンさんはイスラム教

願っている。 切なことを発信できればと では違いますね」と言って 仲が悪いが、本所緑星教会 て世界平和とは大げさかも くださった。バザーを通し しれないが、地域から、 教国アメリカはイスラムと た。ある方は、「キリスト -にやってくるようになっ

活も紆余曲折だった。

会員の医師から「あと五年の命

岡山時代、心臓病が悪く、

し思ったほうがよい」と言われ

団に移ったが、牧師としての生

れがからだに染み渡り、今に至 そのために来られたと信じる。こ た「楽しさ」に生きる。イエス様も

はいない。しかし「教会の敷居 めた。教会員は高齢で、読む人

る信仰生活の

基盤となった。

松山では、

精神障害者小規模

方に読んでもらえて、底にある が少しでも低くなれば」「一般の

信仰を感じ取ってもらえれば」

)願って毎日記す。「ブログ、

教会の牧師となり、 〇四年に教

校を卒業し、日本福音ルーテル

紆余曲折を経て九〇年に神学

「無料歯科検診コ ナー」を担当して

惹かれていたのは、メタノイア

、自分がキリスト教の信仰に

(悔い改め) であったことに改

小豆島の内海教会へ赴任した。

釜ヶ崎で本田哲朗神父と出

の副牧師として一年余り奉仕し の転機が訪れた。松山古町教会 従事し、この頃、教団への移籍 作業所に施設長兼指導員として

楽しみに読んでいます」と言わ

れるようになり、「カゼをひい

た後、新天地で「一から」いや

た」と書いたら、高松に住む人

が見舞いに来てくれた。

「マイナスから」始める思いで、

にが、予測は幸いにも外れた。

を見つめて精一杯生き、「後悔!

婦と四人の子どもたちの他、数 礼拝への出席者は、自分たち夫

かなつながりを広げていること

ひっそり始めた歩みだが、確

ՈւՈւսոն[IIIII հանահայիլ IIII հանահա

てゆきたい。

を挙げていた。 無牧。③社会、環境の影響。④教 ①信仰の弱体化。②教職の交代と ていることと、その要因ベスト8 に伴う教会の多くが閉塞感を招い

の現象ベスト6を列挙していた。)新来者。②青年。③教会学校。 さらに閉塞感をもたらす「減少」 これらはどこの教会でも共通し ⑥献金額。

の統計発表によると教勢の低下等 あるキリスト教ジャーナリズム ン情報ブックニ

を打破して

がかからないこ 低下、この減少 とが報ぜられてい ベスト6に歯止め

社会との遊離、乖離。

会の体質の問題。⑤教職の質の問

題。⑥高齢化。⑦霊性の低下。

8

って閉塞感を感ずるというのは別 るであろう。し わが教団も傾向を同じくしてい いかし、だからとい

所は前年より五九増加し、初めて 全国のプロテスタント教会、伝道 ている問題であろう。「クリスチャ 八千の大台を超えたものの教勢は 〇〇八」によると 問題だろう。昔から教会は閉塞感

ち、聖霊の導きを信じて伝道し教 を感じる只中で、福音の真理に立 会を形成してきたはずだ。 あるように思えてならない。 げた要因ベスト8以外のところに それは同じ信仰告白と信仰のル 教団の閉塞感とはむしろ先に挙

状況からくる閉塞感を打破したい もたらされるように思える。 頑迷な原理主義者呼ばわりされる 信仰告白、教憲教規に立つ者を

ルに立たない不一致の横行から

教団総会議長 山北宣久)

ょしひと **慶仁さん** さんの **三野**

小豆島から、今日も 書いています



1961 年生まれ。 内海 (うちの み) 教会牧師。11月23日、教会 創立60周年記念礼拝を献げる。 URL http://sanyoshi.blog76.fc2.com/